

作成日 2022/07/20

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	マジックディスク
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	研磨
SDS作成上の留意点	本SDSは、原料および加工で生じる粉塵等についての情報となります。
整理番号	M230224

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A 皮膚感作性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)
環境有害性	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肺) 水生環境有害性 短期(急性) 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き 安全対策

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 漏出物を回収すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
保管	
廃棄	施錠して保管すること。 内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。
他の危険有害性	微生物を用いるエームス試験及び哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験において強度の変異原性が認められた物質(労働安全衛生法)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
酸化アルミニウム	25～35%	Al ₂ O ₃	(1)-23	既存	1344-28-1
4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物	15～20%	(C ₁₅ H ₁₆ O 2.C ₃ H ₅ ClO) _x	(7)-1279, (7)-1283	既存	25068-38-6
ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体	15～20%	(C ₂₁ H ₂₄ O 4.C ₁₅ H ₁ 6O ₂) _x	(7)-1279, (7)-1283	既存	25036-25-3
ステアリン酸カルシウム	5～10%	C ₁₈ H ₃₆ O ₂ .1/2Ca	(2)-611	既存	1592-23-0
フェノール樹脂	25～35%	(C ₆ H ₆ O.C H ₂ O) _x	(7)-903	既存	9003-35-4

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)
4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物(政令番号:87)

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び 酸化アルミニウム(政令番号:189)(30%
有害物(法第57条の2、施行令 ~40%)
第18条の2第1号、第2号別表
第9)

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

眼に入った場合

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、一般の泡消火剤。

使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性

情報なし
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
空気中の濃度をばく露限界以下に保つために排気用の換気を行うこと。

安全取扱注意事項

環境への放出を避けること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保管

接触回避

衛生対策

安全な保管条件

保護眼鏡、保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取扱い後はよく手を洗うこと。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
酸化アルミニウム	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³	未設定
4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物	未設定	未設定	未設定
ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体	未設定	未設定	未設定
ステアリン酸カルシウム	未設定	未設定	未設定
フェノール樹脂	未設定	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	未設定

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
密閉する設備又は局所排気装置を設置する。

保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具	呼吸用保護具を着用すること。 保護手袋を着用すること。 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	不浸透性の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	形状	固体
色		固体
臭い		灰色
融点／凝固点		無臭
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限 界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配 係数(log 値)		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分に該当しない:酸化アルミニウム(出典:NITE), 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ- 2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE)
		分類できない:フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))
		データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノール A型エポキシ樹脂中間体
		分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を 含有するため分類できない。
	経皮	データ不足のため分類できない。

	吸入 (急性毒性(吸入:気体)) GHS定義による気体ではない。 (急性毒性(吸入:蒸気)) データ不足のため分類できない。 (急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	区分2:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE) 分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体 区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。 区分2:フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA)) 区分2B:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE) 分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE) データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体 眼区分2の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2Aに該当。
呼吸器感作性 皮膚感作性	データ不足のため分類できない。 区分1:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA)) 分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE) データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体
生殖細胞変異原性	フェノール樹脂$\geq 1\%$のため、区分1に該当。 区分に該当しない:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE) 分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))
発がん性	データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 区分に該当しない:酸化アルミニウム(出典:NITE) 分類できない:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA)) データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

生殖毒性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

(生殖毒性)

区分に該当しない:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE)

分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))

データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

(生殖毒性・授乳影響)

分類できない:フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))

データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分3:酸化アルミニウム(臓器=気道刺激性 出典:NITE)

分類できない:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))

データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

区分3(気道刺激性)の成分合計が濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1:酸化アルミニウム(臓器=肺 出典:NITE)

分類できない:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))

データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

酸化アルミニウム $\geq 10\%$ のため、区分1(肺)に該当。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

区分1:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE)

分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))

データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

(毒性乗率 $\times 10 \times$ 区分1)+区分2が濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1:4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物(出典:NITE)

分類できない:酸化アルミニウム(出典:NITE), フェノール樹脂(出典:Registered substances (ECHA))

データなし:ステアリン酸カルシウム, ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

(毒性乗率×10×区分1)+区分2が濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。

情報なし

情報なし

情報なし

データ不足のため分類できない。

残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意 国際規制

Regulatory
Information by Sea
Marine Pollutant
Transport in bulk
according to
MARPOL
73/78,Annex II ,and
the IBC code

Not dangerous goods

Not applicable

Not applicable

国内規制

Regulatory
Information by Air
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL73/78附属
書II及びIBCコードに
よるばら積み輸送さ
れる液体物質

Not dangerous goods

非該当

非危険物

非該当

非該当

特別の安全対策

航空規制情報

非危険物

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該当

労働安全衛生法(通知対象物質)

該当

毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)

非該当

特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律

非該当

消防法

非危険物

適用される主たる国内法令

化審法

優先評価化学物質(法第2条第5項)(4, 4'-イソ
プロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポ
キシプロパンの重縮合物)

労働安全衛生法

変異原性が認められた既存化学物質(法第57条
の5、労働基準局長通達)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57
条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第
9)(酸化アルミニウム)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35
条別表第1の2第4号1)

感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則
第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、
基発第182号)

16. その他の情報

連絡先

株式会社MonotaRO

参考文献

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情
報に基づいて作成しておりますが、現時点における
化学又は技術に関する全ての情報が検討されてい
るわけではありませんので、いかなる保証をなすも
のではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたもの
であります。特殊な取り扱いの場合には、この点の
ご配慮をお願いします。